

小正月の伝統行事を現在に伝える

1月16日(月)、上田代地区で「じえんこまき」が行われました。「じえんこまき」は、牛馬の神様とされる蒼前様に牛の健康や家内安全を祈願し、神棚で清められた縁起のよい小銭、米などを家の前で撒く小正月の伝統行事で、現在は上田代地区にのみ傳承されています。

当日は、真冬の厳しい寒さではありましたが、家主から小銭が豪快に撒かれると、老若男女を問わず満面の笑顔で雪の上を駆け回り、元気よく拾い集めていました。

また、1月15日(日)～16日(月)の2日間、村内の各集落で「田植えもちつき踊り」が行われました。田植えもちつき踊りは、各地区の婦人会を中心に傳承されており、女性の正月とも言われる小正月に披露されます。

婦人たちは、鮮やかな着物に身を包み神社や各戸で踊り、今年一年の豊作、家内安全を祈願しました。



上田代地区に伝わるじえんこまき



田植えもちつき踊り (写真は砂子又地区)

人権擁護委員法務大臣感謝状及び法務大臣委嘱状伝達式

1月26日(木)、役場庁舎内において、人権擁護委員法務大臣感謝状及び法務大臣委嘱状伝達式が行われました。

伝達式では、平成11年12月1日から平成23年12月31日まで人権擁護委員として活動された松木成雄さん(砂子又)に、長年にわたり人権擁護活動に貢献された功績を称え、法務大臣感謝状が伝達されました。

また、平成24年1月1日より新たに人権擁護委員となった成田俊一さん(上田屋)に法務大臣委嘱状が伝達されました。

人権擁護委員は、法務大臣から委嘱された民間の人たちで構成され、人権侵害事件の調査処理、人権相談、人権啓発活動などを行っています。



松木成雄さん(左)と成田俊一さん(右)